

いほき新報平市制  
 壹週年記念第八百  
 七十七號 特編號

發行日 五月十五日(廿五(三回))  
 福島縣石城郡市長橋町四七  
 發行所 いほき新報社  
 編輯兼發行人 高木 喬  
 印刷 人 高木 喬  
 本紙定價 一月十錢 三月廿錢  
 廣告料 場所指定 十錢 增

祝 平市制壹週年記念

青 沼 村 鐵  
 野 沼 龍 助  
 阿 沼 龍 助  
 諸 橋 政 右 門  
 長 島 久 太 郎  
 藤 沼 平 次 郎  
 高 松 村 鐵  
 關 內 榮  
 西 村 屋 組  
 平 藝 妓 屋 組  
 平 料 理 屋 組  
 市 銀行 組  
 郎 苗 郎 平 市 銀行 組

# 記念一週行制市平

## ウキンドウ

### 第八回裝飾競技大會

#### 優勝の窓飾は 果てし何れ?

#### 果然人氣沸騰 愈々迫る

ウキンドウ並に店頭裝飾大會

現下の經濟界本格的に立ち直らんごす  
 躍進平市自治体の面目維持と榮譽ある  
 初代市長賞目標に参加を乞ふ。

昭和六年四月計畫した本ウキンドウ裝飾等廣告に依つて眼を分を反映するも(但色彩社主催店頭並にショウウキ 囚ひ顧客吸集する嶄新な方 及照明自由) 店頭は裝飾整頓に依る客を犠牲にし平市實現に一意らそはれぬ事實である。時 足を引く効果を審査す(但専心邁進した青沼鋒太郎氏 恰も意義深き六月一日!! 榮し市制記念マーク表現する平商工會、一般有志諸氏の えゆく躍進平市制壹週年を(も)可)入賞に對し初代市長絶大なる御贊助に依り回を 迎へるに當りこれを記念せ 褒狀並に賞品贈呈、参加者 重なる事第七回、商店側の んため茲に第八回ショウウキ 全部へ初代市長賞狀を贈る 技術的裝飾進歩は益々その キンド並に店頭裝飾競技大 眞價を表現し廣告的效果を 會を圖り各商店側は如何に 收めるに至つた事は商業街 美裝され、商品に照明効果 としての平市振興上同慶に を投下されるや愈々現實的 堪えざるものである。謂ふ に多大の興味を懸けられる までもなく窓飾を考案し店 ことになつた尙ほ競技方法 頭陳列を美化し照明によつ 及び参加規定は左の如し

**競技方法**  
 加入資格は市内商店に限  
 り飾窓及店頭之二種類に分  
 ち審査参加にはウキンド内  
 まで果す行為で其の内部か  
 ら動く力、商業經營法は年  
 々進歩し店頭並にウキンド  
 日日新聞社選)又は軍國氣

**参加規定**  
 審査期日 自六月一日  
 至五日  
 審査會 五日午後七時  
 發表日 六日  
 賞狀授與式 後日發表

いはき新報社  
 高木 喬

**商人は 進取的たれ**  
 平市會議員某氏談  
 平の商人の總體的の氣分

を見るに廢癩的になつてゐるやうに見受けられる。六七乃至數十軒の店舗を除いては「どうせ賣れないのだから店舗の改造やら陳列等を好したつて仕方がない」といつた諦めと云ふより投げやりになつてゐるはせぬかと思はれる節が非常に多い成程事情を聞いてみると仙台にも東京にも近いだけにデパートの進展を受け或は購買組合に得意を縮少される傾向も見受けられる。然しながら現下の經濟界を靜觀するに正に軍需インフレーションと炭礦景氣に惠まれ本格的に立ち直らんとしてゐる大躍進の平市壹週年を迎へて此處に緊陣一番すべきである。若し苦境に陥つてゐる店を背負つてゐるものありとするならばこゝで一ト踏張りしてやがて來る好況に備ふべきであらう。

昭和六年度より恒例に依るいはき新報社の高木君の行つてゐるショウウキンド並に店頭裝飾競技大會は思ひをそこに致して開催するものと信ずる故にさうした與へられた絶好の機會に商店は擧つて参加しよりよき窓飾照明或は店頭陳列を施しもつて自力更生すべきである。

